事業所における自己評価（児童発達支援）結果

公表：令和　3年　　月　　日

事業所名　NPO法人　こころ・コミュニケーションの発達支援　まいすてっぷKids

職員10名　回収10名　回収率　100％

チエック項目			はい	いいえ	工夫している点、改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	曜日やその時間帯によりスペースの工夫、空間の工夫は必要
	②	職員の配置数は適切であるか	10	0	
	③	生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	2	・駐車場から玄関までの階段・段差あり ・玄関のタイル貼りで、雨・雪の日には滑ってしまう可能性もある
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	10	0	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDACサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	10	0	・日々、情報共有している
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	10	0	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	・HPで公開している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	9	未記入１
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	・していると思うが、今年はコロナ流行もあり、実技などは難しいかもしれない ・オンラインで受講できる研修会には参加させてもらっている ・コロナ禍で難しいが、本や雑誌などを紹介していただくことで、自己研修になっていると思う

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	10	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2	・K-ABCⅡ、PVT-R絵画語彙発達検査、S-S法言語発達遅滞検査、フロスティッグなど活用している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援のガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	余暇活動などはスタッフ間で行なっている
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	10	0	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7	3	・集団活動をしていない ・感染対策とともに考慮して、やれる範囲で取り組んでいる ・個別活動を中心で作成されている
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	
	⑱	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	10	0	・必要に応じて行っている
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性の判断をしているか	6	0	未記入4
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	・療育時間と重なっている時は、活動内容や様子等を紙に記入し、管理者に渡してもらうこともある
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援が行われているか	8	2	・担当者会議など、行っている

関係機関や保護者との連携	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	1	未記入9 ・該当者なし
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等を連絡体制を整えているか	0	1	未記入9 ・該当者なし
	㉕	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	・必要に応じて行っている
	㉖	移行支援として小学校や特別支援学校（幼稚部）等との間で支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	・必要に応じて行っている
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	0	・宇城地域のこども部会に参加している
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	10	
	㉙	（自立支援）協議会や子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	2	・代表者のみ参加、機会があれば参加したい
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	0	・フィードバック時に話を聞いたり、活動内容を伝えたりしている
	㉛	保護者の対応能力の向上を図るため保護者に対して等）家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	8	・以前はCAREプログラムに取り組んでいたが、コロナが落ち着けば再開したい ・コロナ状況下、今年は計画することが難しかった
	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	・契約時や変更時などに行っている
	㉝	児童発達支援計画には、児童発達支援のガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	

保護者への説明責任等	㉞	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援を行っているか	10	0	・毎回のフィードバック時に話を聞いたりしている
	㉟	父母の会の活動やの支援したり、保護者会等の開催する等により保護者同士の連携が支援しているか	0	10	
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に適切に対応しているか	10	0	
	㊲	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	・NPO法人としてのHP等に載せている ・保護者にメールにて発信している ・土曜日活動については、貼り紙もしている
	㊳	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	10	0	
	㊴	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	9	
非常時党委の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施しているか	9	1	・特に今年は、県の感染リスクのレベルに合わせて、対応してきたと思う ・マニュアルは作成しているが、訓練までに至っていない
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練を行っているか	5	5	
	㊸	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	10	0	・保護者に確認 ・保護者からの報告
	㊹	食物アレルギーのある子ども、医師指示書に基づく対応がされているか	8	2	・保護者に確認 ・家族からの聴き取り中心ではあるが、確認をしている
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	10	0	
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修を確保する、適切な対応をしているか	6	4	・研修があれば、回覧している ・県からの通達を回覧することは行っている
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	10	0	